

中野区基本構想の改定に係る検討状況について

区は現在、中野区基本構想の改定に向けて、中野区基本構想審議会の審議をはじめとして、広範な区民の声を聴きながら、検討を進めているところである。現在の検討状況について、以下のとおり報告する。

1 基本構想審議会

(1) 設置日

平成31年4月8日(月)

(2) 委嘱者

39名(委員25名、臨時委員14名) ※委員名簿は別紙1のとおり

(3) 諮問事項

広範な区民の声を反映し、社会経済状況の変化や中長期的な社会動向、他地域の先進事例等を見据えた、中野区基本構想の改定にあたっての基本的な考え方及び盛り込むべき事項について

(4) 部会の設置

以下の部会を設置し、各部会において審議を行っている。各部会における現時点での主な意見は別紙2のとおりである。

- ①自治・共生・活力部会
- ②子育て・教育部会
- ③健康・医療・福祉部会
- ④都市・防災・環境部会

2 区民と職員のワークショップ

無作為抽出した区民およそ2千人に案内を送付し、参加を希望した区民を対象として実施した。ワークショップはグループディスカッション形式で行い、各グループに職員が参加した。

(1) 開催日および参加者

第1回	令和元年6月2日(日)	参加者	区民36名	職員13名
第2回	令和元年6月8日(土)	参加者	区民37名	職員13名

(2) 会場

中野区産業振興センター

(3) 主な意見（大切にしたいこと）

テーマ	主な意見（大切にしたいこと）
自治・共生・活力	・産業振興・駅前開発などによる活性化を望む意見 ・地域でのつながりの希薄化への課題感 ・商店街活性化・空き店舗の活用への期待 ・地域の関わりやつながりにおける世代間ギャップへの課題感 ・区からの情報発信の強化・手法の多様化への期待 ・安全で歩きやすく、区内外の便が良い交通を望む意見
子育て・教育	・ひとりひとりの個性を伸ばし、可能性・夢を育む教育を理想像とする意見 ・地域でのつながりの希薄化への課題感 ・保育施設の増加、待機児童の解消、保育士の待遇改善への問題意識 ・子どもが自由にのびのびと遊べる公園などの居場所の必要性 ・子どもの交通事故への不安感・危機感 ・子どもの貧困、児童虐待といった社会課題への解決についての意見
健康・医療・福祉	・見守りや活動の担い手不足・高齢化への懸念 ・社会参加・つながりを生み出すコミュニティ・居場所を望む意見 ・運動や食事を通した健康づくりを促進する意見 ・高齢者の単身世帯への危機感 ・認知症の知識や予防対策、家族のサポートへの不安 ・介護施設の充実・増設を望む意見 ・障害への認識・相互理解を向上させるべきという意見 ・休日・夜間・緊急時をはじめとした病院の充実を望む声
都市・防災・環境	・若い世代を呼び込むまちづくりを目指す意見 ・子育て世帯を増やす方向性を望む意見 ・個人商店の閉店への危機感 ・空き家への関心・危機感 ・ゴミ問題の改善を望む意見 ・公園の少なさや質への問題意識 ・道路の狭さへの問題意識 ・住宅密集、木造住宅、避難所、防災訓練、要支援者への配慮などへの課題感

3 区民と区長のタウンミーティング

開催日	テーマ	参加者数	開催場所
5月14日（火）	自治・共生・活力	18名	中野区役所
5月22日（水）	健康・医療・福祉	22名	中野区役所
6月5日（水）	都市・防災・環境	18名	中野区役所
6月16日（日）	子育て・教育	29名	桃園区民活動センター

4 区民アンケート

（1）実施方法

①「区民と職員のワークショップ」の案内に用紙を同封

ア 期間 平成31年4月24日（水）から令和元年5月14日（火）まで

イ 回答方法 返信用封筒またはホームページで回答

②区施設（区民活動センター、図書館）に用紙を設置

ア 期間 令和元年5月16日（木）から6月17日（月）まで

イ 回答方法 郵送またはFAX

③区ホームページで実施

ア 期間 令和元年5月16日（木）から6月17日（月）まで

イ 回答方法 ホームページで回答を送信

（2）回答件数

321件

（3）設問内容

①基本構想の認知度

②どうすれば基本構想に親しみや共感を持てるか

③基本構想の基本理念に盛り込んでほしい言葉

④基本構想の改定への参加意向

⑤基本構想に優先的に記載してほしい内容

5 新しい基本構想を考える職員プロジェクトチームの設置

（1）目的

①基本構想を改定するにあたり、幅広い職員からの意見を集約すること。

②中野区の将来像を描く基本構想への改定に主体的に関わる機会を設けることで、将来の中野区を担う職員を育成すること。

（2）構成員

26名（各部からの推薦および公募）

※4チームに分かれ、各チームにサポーターとして管理職を2名（計8名）配置。

（3）活動内容

①基本構想審議会に、PTとしての提案書を提出すること。

②区民と職員のワークショップに参加すること。

③職員ワークショップに参加すること。

④基本計画策定に向けたデータ集を作成すること。

6 今後のスケジュール（予定）

- 令和元年 7月 審議会の各部会で中間まとめ
審議会に区民意見（ワークショップ等）および職員提案を報告
- 8月～9月 審議会の各部会の最終まとめ
- 10月 審議会答申
- 令和2年 1月 基本構想（素案）策定
- 3月 基本構想（素案）に関する意見交換会の実施
- 4月 基本構想（案）策定
- 5月 基本構想（案）に関するパブリック・コメントの実施
- 6月 基本構想議案の提案

中野区基本構想審議会委員・臨時委員名簿 ※は臨時委員

<自治・共生・活力部会>

氏 名	所 属 等	区 分	備 考
宮脇 淳	北海道大学公共政策大学院教授	学識経験者	会長、部会長
笠尾 敦司 ※	東京工芸大学芸術学部教授	学識経験者	
横田 雅弘 ※	明治大学国際日本学部教授	学識経験者	
高橋 宏治	中野区商店街連合会	団体推薦	
高橋佐智子	中野区町会連合会	団体推薦	
米持 大介	東京商工会議所中野支部	団体推薦	
岡井 敏	公募	公募区民	
岸 哲也	公募	公募区民	
小池 浩子	公募	公募区民	

<子育て・教育部会>

氏 名	所 属 等	区 分	備 考
和泉 徹彦	嘉悦大学経営経済学部教授	学識経験者	部会長
新庄 恵子 ※	帝京大学教職センター・教育学部准教授	学識経験者	
安藤 文隆 ※	中野区私立幼稚園連合会	団体推薦	
猿田えり子 ※	中野区民生児童委員協議会(主任児童委員)	団体推薦	
染谷安紀子 ※	中野区私立保育園園長会	団体推薦	
能登 祐克	中野区立中学校PTA連合会	団体推薦	
藤本 飛鳥	中野区立小学校PTA連合会	団体推薦	
相川 梓	公募	公募区民	
今村 亮	公募	公募区民	
城山 智子	公募	公募区民	

<健康・医療・福祉部会>

氏 名	所 属 等	区 分	備 考
小澤 温	筑波大学大学院人間総合科学研究科教授	学識経験者	副会長、部会長
石山 麗子 ※	国際医療福祉大学大学院教授	学識経験者	
砂川 憲彦 ※	帝京平成大学現代ライフ学部教授	学識経験者	
岡見 初音	中野区民生児童委員協議会	団体推薦	
川村 和利 ※	中野区福祉団体連合会	団体推薦	
濱本 敏典 ※	中野区体育協会	団体推薦	
松本 洋子	中野区社会福祉協議会	団体推薦	
宮原 和道 ※	中野区介護サービス事業所連絡会	団体推薦	
由良 明彦	中野区医師会	団体推薦	
大塚 桂樹	公募	公募区民	
佐藤 真木	公募	公募区民	
室伏 渉	公募	公募区民	

<都市・防災・環境部会>

氏 名	所 属 等	区 分	備 考
饗庭 伸	首都大学東京都市環境学部教授	学識経験者	部会長
佐土原 聡 ※	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授	学識経験者	
岡本 秀子 ※	中野区町会連合会(防災活動)	団体推薦	
五味 道雄	東京都建築士事務所協会中野支部	団体推薦	
鈴木 照男 ※	中野工業産業協会	団体推薦	
興梠与利子	公募	公募区民	
甚野誠一郎	公募	公募区民	
吉村 芳明	公募	公募区民	

基本構想審議会各部会の主な意見

部会	重点テーマ	主な意見
自治・共生・活力	○区民と協働・協創する自治体 ○違いを力に変える多様な連携 ○地域愛を育む人のつながり ○区内経済活動の活性化 ○身近にある文化・芸術	・区民と行政が課題を共有し、ともに解決の方法を考えるようになると良い。 ・「みんな違ってみんな良い。違うから中野に人が集まる」というまちが良い。 ・地域活動の入り口が見えるように、多様な手法による広報が必要である。 ・商店街は、商品販売だけでなく高齢者や子供の見守りなど多くの機能がある。中野区のような住宅が多いまちでは、商店街振興のあり方は重要である。 ・文化芸術を振興することにより、若者もまちに参加しやすくなる。
子育て・教育	○子育てが楽しくなる地域環境 ○子どもの命と権利の保護 ○地域の子育て力 ○自ら可能性を伸ばし成長する若年世代 ○社会の変化に対応した教育・保育	・地域の多様な人たちが共に子どもに関わっていく、子どもに優しいまちづくりが必要である。 ・子ども自身が、自ら創意工夫して遊べる公園等があると良い。 ・子どもが主体的に考え、自分の気持ちや意見を言える環境が大切である。 ・区が地域活動のネットワークを支援することで、地域の子育て力が増す。 ・外国籍の若者がコミュニティに入っていけるように支援する必要がある。 ・全ての就学前教育施設の密な連携により、保育の質を向上する必要がある。 ・教育を学校だけに任せず、地域全体で支援する新たな仕組みが必要だと思う。

	重点テーマ	主な意見
健康・医療・福祉	○多様な生き方が受け入れられる社会 ○支援を必要とする人を支える地域のネットワーク ○生涯を通じて健康に過ごせる環境 ○支援を必要とする人を支える社会参画	・学校等で障害者と接する機会を充実することで、相互理解が進む。 ・ICTの進展は、障害者や外国人との情報共有にも役立つと思う。 ・現代社会は人付き合いにもリスク管理を考えてしまうが、寛容な雰囲気のあるまちになっていくと多様な生き方が受け入れられると思う。 ・運動が特別なものではなく、生活に近いものになることが必要だと思う。 ・ボランティア等に意欲的でも情報を受け取れていない若年世代や外国人などに情報を届ける工夫が必要だと思う。
都市・防災・環境	○快適で魅力ある住環境 ○世界に開かれた都市活動とにぎわいの拠点 ○地域のにぎわいの創出・再生 ○災害に強い都市 ○地球にやさしいライフスタイル	・変化していくだけではなく、今の中野らしさを守っていくことも大切である。 ・中野区にはサブカルだけでなく伝統文化もある。一つには絞られない可能性が高いまちとしてのイメージを大切にすることがある。 ・住むところ、働くところ以外の場として、賑わいと繋がり of サードプレイスの魅力を創出できるといい。 ・昼間人口の増加や、集合住宅の増加により、災害時の情報伝達の強化が必要となっている。 ・他地域からの木材購入やグリーン購入など、全体としてCO2を削減できる取り組みを進める必要がある。